

年の瀬です！

いよいよ、今週から12月にはいります。私自身、暖かいハワイの生活で、季節感を忘れてしまうことがあります。そこで、改めて、日本の12月の風物を考えて見ました。

- 12月 8日頃 「大雪」・・・雪が激しく振り出す時期
- 12月 22日頃 「冬至」・・・1年で1番昼が短い日です。南瓜を食べたり、柚子のお風呂に入ったりします。他には、蒟蒻や小豆粥を食べる風習もあります。



- 12月 24日 「クリスマス・イブ」 これは言うまでもないですね。

また、行事としては、

- 「すす払い」・・・古くは12月13日に神棚をはじめ家の内外を掃除する「すす払い」が行われていました。最近では年末にする家庭が多いようです。
- 「年の市」・・・年末にお正月飾りなどを市のことです。
- 「大晦日」・・・1年の最後の日で、欠かせないのは除夜の鐘と年越しそばでしょうか？



☆除夜の鐘・・・除夜の鐘は12月31日の12時をはさんで、108回つき鳴らされます。一般に108という数は、人間を悩ませる煩惱の数だとされます。また別の説では、暦の上で重要な12か月と24節季と72候を足した数(12+24+72=108)だとも言われています。



☆年越しそば・・・年越しそばは、細く長くと長寿や幸福を願ったものであるという説と、昔、金銀細工の職人が、練ったそば粉で床に落ちた金銀を集めたことから縁起が良いものとして年越しに食べるようになったという説があります。

日本独自の文化ですが、ここハワイにいと忘れがちです。親子の会話の話題として、話していただくと子供たちも日本についての興味も沸くと思います。我々、大人にとっても引き継いでいかなければならない伝統のような気がします。

「無罪の七施」

私を含め、現代人は、あまりにも自分本位になってきているような気がします。みんなが幸福になるために「無罪の七施」をご紹介します。クリスマスが近づいてこの時期に考えてみました。

①眼施(げんせ)・・・優しい眼差し、②和顔悦色施(わげんえつじきせ)・・・和やかな顔色で人と接する、③言辞施(げんじせ)・・・優しい言葉をかける、④身施(しんせ)・・・勤労奉仕、⑤心施(しんせ)・・・感謝の心を持つ、⑥牀座施(しょうざせ)・・・席を譲る、⑦房舎施(ぼうしゃせ)・・・一宿一飯の施しをする。以上が「無罪の七施」です。ご家庭や勤務先で、この中の一つでも実行できたら、自分自身だけでなく周囲の人をも幸福にできるのではないのでしょうか？

第4期授業料の銀行引き落としについて

12月12日(月)に第4期の授業料の銀行引き落としを行います。年末で、出費多端な折ですが、各ご家庭におかれまして、準備の程、宜しく申し上げます。

